

## 講演会のご案内

実りの秋を迎え皆様お元気でお過ごしでしょうか。 会員の皆様には平素より会の活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年の講演会にはボクシングの元東洋太平洋チャンピオン 坂本博之氏をお迎えすることになりました。ご家庭の事情で、親戚や施設で育ちながらチャンピオンになり、現在は SRS ボクシングジム会長のかたわら全国の児童養護施設の子どもに手をさしのべる活動をされています。

講演の後には、子ども優先でボクシングセッションもしていただけます。

ご多忙とは思いますが、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

男女問わず、中・高校生(大学生も)のご参加もお待ちしています。

### 記

1. 日 時 平成24年 12 月 9 日(日)
2. 場 所 しあわせ村 2階 講義室
3. 内 容  
12:00～ 受 付  
12:30～ 講演会『こころのカギを開け！』  
講師 坂本 博之氏  
14:30～ 休憩 (会場準備)  
14:40～ ボクシングセッション「思いを拳にのせて打つ」  
16:50 閉 会
4. 参加費  
会員 2,000円 (一家族)  
非会員 3,000円 (一家族)
5. 申し込み 11月10日までに 申し込み用紙にご記入の上、郵送または FAX でお申し込みください。



6. 託 児           小学生以下    一 家 族    1,000円  
                           中学生以上で託児室をご利用される時    300円
- ・ 受付後、託児室にご案内します。
  - ・ お子様が必要と思われる物(飲み物・おやつ・着替えなど)はお名前を明記の上、各ご家庭でご用意ください。
  - ・ 突然の託児のキャンセルは託児料をいただく事があります。

7. 懇 親 会       講演会后 坂本氏を囲んで懇親会を予定しています。  
                           ご都合のつく方はぜひご参加ください。
- 大 人(中学生以上)    4,000円  
 子 供                   1,500円

お願い        昼食は各自すませてください。  
                   ボクシングセッション用に、お子様は運動しやすい服装でお越しください。  
                   坂本氏は施設にいる子供達のために「こころの青空基金」を立ち上げています。  
                   当日、テレフォンカード・衣類・おもちゃ(各新品に限る)などの寄付を募ります。ご家庭に眠っている物があればご協力お願いします。  
                   サインをご希望の方は、色紙などご準備ください。  
                   託児で里親ヘルパーさんを利用できる方は児童相談センターへ申し込みのご協力をお願いします。  
                   (ご協力いただける方は託児希望欄に「ヘルパー可」とご記入下さい)

申し込み  
 ご住所

| 氏 名 | 子供年齢(学年) | 託 児 | セッション | 懇親会 |
|-----|----------|-----|-------|-----|
|     |          |     |       |     |
|     |          |     |       |     |
|     |          |     |       |     |
|     |          |     |       |     |
|     |          |     |       |     |
|     |          |     |       |     |

お子様の名前の読み方をご記入お願いします



# 坂本博之(さかもとひろゆき)氏 プロフィール

1970年12月30日 福岡県田川郡川崎町生まれ。

2歳前に「鞍手乳児院」へ預けられ、3歳を迎える頃、児童養護施設「誠慈学園」へ入所。

その後、一時帰宅と親戚の家を転々としながら、小学2年生の時にネグレクトを受け、児童養護施設

「和白青松園」に引き取られる。同施設のテレビでボクシングと出会い、プロボクサーを目指す。

引退後は、「こころの青空基金」を通じて全国の養護施設を廻り、子供達のこころの支援活動を続けている。

(2011.10時点で37ヵ所を訪問) 2010年にSRSボクシングジムを設立、会長として選手を育成している。



## 活動履歴

|       |     |   |
|-------|-----|---|
| 1991年 | -   | プロデビュー  |
| 1993年 | 2月  | 全日本ライト級新人王  |
|       | 12月 | 日本ライト級チャンピオン  |
| 1996年 | 3月  | 東洋太平洋ライト級チャンピオン   |
| 1997年 | 7月  | WBC 世界ライト級タイトルマッチ挑戦   |
| 1998年 | 8月  | WBC 世界ライト級タイトルマッチ挑戦   |
| 2000年 | 3月  | WBA 世界ライト級タイトルマッチ挑戦   |
|       | 7月  | こころの青空基金設立。<br>日本チャンピオン後から交流を始めた出身施設である和白青松園へ、<br>部品寄付や試合の招待、施設訪問を行う  |
|       | 10月 | WBA 世界ライト級タイトルマッチ挑戦   |
| 2002年 | -   | ヘルニア外科手術  |
| 2006年 | 1月  | 復帰  |
| 2007年 | 1月  | 現役を引退(47戦, 39勝, 29KO, 7敗, 1分け)<br>(こころの青空基金 ~ SkyhighRingS ~ SRSと改名し、<br>全国の児童養護施設へ向けて活動の輪を広める)<br>自身の半生や、こころの青空基金の活動を語る講演を開始 |
| 2010年 | 8月~ | SRSボクシングジム設立 会長を務め、選手育成に力を注ぐ  |

## 坂本博之氏より「こころの青空基金」についてのメッセージ

全国の児童養護施設で生活する子ども達を支援するために、  
「こころの青空基金」活動をより多くの方々に知っていただきたいと私は考えています。  
私が15年間のボクシング生活を通して得た経験を一言で表現するとすれば、  
「熱を持って接すれば、熱を持って返ってくる」ということです。  
これから私は、その「熱」を伝えていく活動を行いたいと思っています。  
そのためには私自身が児童養護施設へ訪問し、  
子ども達と直接ふれあい、共に過ごす時間が必要となってきます。  
そうして打ち解けて初めて、子どもはこころを開いてくれるものだと思います。  
そして、私が経験した事を子ども達に伝え、「熱」に変えていってほしいと思います。  
私自身、今までの経験の中で、たくさんの試練を与えられてきたと感じています。  
心の痛み・身体の痛み。様々な経験の中で、  
どうしようもない「痛み」をどう乗り越えていけるのか。  
それを乗り越えた先には、いったい何が待っているのか。  
経験して初めて感じられたこともたくさんあります。  
「痛み」を抱えた人間が、どれほど強いのかを子ども達にも知ってもらいたい。  
そして、与えられた試練を克服できた先には、  
不屈の魂が宿る事を意識して生きていってほしい。そう願ってます。  
多くの子ども達が、笑顔で成長できるように。  
小さな輪を、2人が4人、6人、8人と少しずつ広めて大きな輪となりますように。  
皆様からのご支援とご協力をお願いいたします。



## 主な書籍

- 2011.4 「運命」を跳ね返すことば 坂本博之著(講談社+a新書)
- 2007.1 僕は運命を信じない 田中耕著(西日本新聞社)
- 2001.8 ちくしょう魂(こん) 坂本博之著(小学館文庫)
- 1997.7. 坂本博之 不動心 加茂佳子企画・構成(日本テレビ放送網)



ボクシングセッションの一場面